



# 議会だより

No.160

発行  
令和5年  
4月27日(木)



歌うことが大好きで、とりわけ人とのハーモニーをつくり上げていくことに幸せを見つけ楽しんでます。町内・町外のイベント等にも参加し、少々緊張はするものの、これも楽しい目標として日々練習に励んでいます。

歌うことが好きな皆様、遊びにおいでください。入会大歓迎です。

**P.2** 令和5年度予算 **可決**

**P.5** 新年度事業 **ピックアップ**

**P.7** 各種委員会報告

**P.11** 一般質問 **8名が登壇**

### サークル紹介 No.16

#### 《フラワーコーラス》

◎活動内容 (コーラス)  
第1・2・4火曜日 13時～15時  
場 所 川棚町中央公民館  
会 費 月2,000円  
◎代表者 坂井 淳子  
連絡先 82-5464

# 予算を可決

3月定例会

119億4226万円～



改修された議場

令和5年3月定例会は、3月7日から24日まで開催され、令和5年度一般会計等予算、人事案件、新規条例や条例改正、令和4年度補正予算等の審議をおこない、すべての議案を原案どおり可決しました。

## 予算審査での主な質疑

予算審査  
特別委員会

# 令和5年度予算のここが聞きたい

### 殺処分減少に 寄与

問 猫TNR活動事業の内容は。

答 Trap(捕獲)、Neuter(不妊手術)、Return(元の場所に戻す)の略で、飼い主のいない猫に関わる苦情や、殺処分の減少に寄与する活動をクラウドファンディング等により支援をしていく活動である。

### 町の魅力を 情報発信

問 公募によるSNSの情報発信とは。

答 町民の方に、SNS等で町の魅力などの情報発信をおこなっていただき、謝金を支払う。

### 安心して出産を

問 「子育て世帯出産サポート」を試験的に実施するとあるが。(5ページ参照)

答 1年間試行をおこなったうえで、効果検証し、継続するか判断したい。



令和5年度予算額		前年度比 (%)
一般会計	66億9600万円	99.5
特別会計	国民健康保険事業	18億6000万円
	後期高齢者医療	2億1788万円
	介護保険事業	14億6000万円
	観光施設事業	2億8690万円
下水道事業 (公営企業会計)	9億3538万円	113.2
水道事業 (公営企業会計)	4億8610万円	103.7
合計	119億4226万円	101.6

\*万円未満は四捨五入して表示しています。

## 釣りは自由に

**問** 川棚川内水面振興協議会の活動内容は。

**答** これまでの川棚川漁業協同組合の漁業権は放棄し、うなぎ塚の管理を引き継ぐ。遊漁券は必要なく、自由釣りができる。

## さらに検討

**問** 中央公園の人工芝生化は。

**答** 大崎自然公園交流広場の改修を優先したいとの考えで、中央公園については、施設の管理方法、フェンス設置、有料化等の検討を今後おこなっていく。

## 近隣に会場がない

**問** 大崎自然公園交流広場の人工芝は、改修しないとインターハイがおこなえないのか。

**答** 準決勝以上が開催できないと聞いている。近隣でも会場として使用できる場所がない。

## 繁殖牛をアプリで管理

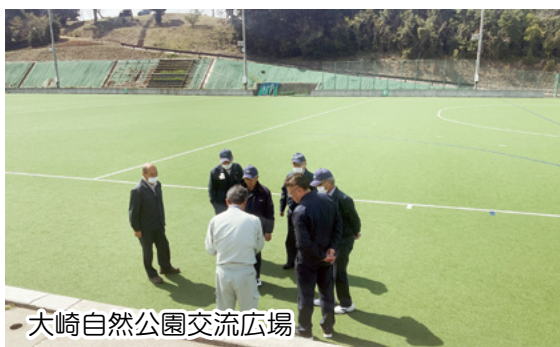
**問** 肉用牛繁殖経営における「ファームノート」とは。

**答** 雌牛の首にアプリで体調管理できる機器を取り付け、繁殖期などを管理する。

## 県内での全国大会にも

**問** 人づくり・文化スポーツ振興補助費の見直しを求める根拠は。

**答** 現在の規定では県外でおこなわれる全国大会・九州大会の出場者に補助をおこなうこととなっており、今後は長崎県内でおこなわれる全国大会・九州大会でも補助できるように見直しを要請したい。



大崎自然公園交流広場

## 12項目の意見を提出 予算審査特別委員会

- ①情報発信強化については、適した人材を採用し、SNSや動画配信など積極的に取り組まれていくことを期待する。
- ②行政事務のデジタル化推進については、各部署でそれぞれ取り組まれていくものと思われるが、費用対効果や業務の効率化、住民の利便性など、様々な角度から協議・検討し進めていくよう努められたい。
- ③まちづくり団体協議会（仮称）については、各種団体の連携を強化し、新しい町の活性化策につながるよう努められたい。
- ④地域公共交通計画策定業務については、町民からも多くの要望が出されている事案であり、本町に適したマスタープランが策定されることを期待する。
- ⑤川棚町子育て世帯出産サポート試行事業については、子育て世帯への周知を徹底し、多くの利用実績を基に効果検証が実施できるよう努められたい。
- ⑥猫TNR活動事業については、野良猫に関する地域被害等が多く寄せられていると思うが、しっかりと住民の理解を得ながら進めていくよう努められたい。
- ⑦地区からの環境整備要望については、今後も誠意を持って対応されたい。
- ⑧川棚中学校3年生の給食費無償化については、令和6年度以降の継続と対象学年の拡大を期待する。
- ⑨人づくり・文化スポーツ振興補助制度の内容見直しについて検討されたい。
- ⑩介護保険事業に関しては、町内全域で様々な事業が展開されているが、介護事業者やサポーターとの連携を図り、高齢者福祉の充実に期待する。
- ⑪大崎自然公園交流広場の人工芝改修後は、スポーツ合宿や大会の誘致など、施設利用者の増加を図られたい。
- ⑫下水道事業については、接続率の向上に努められたい。

## 本会議における討論・採決（要旨）

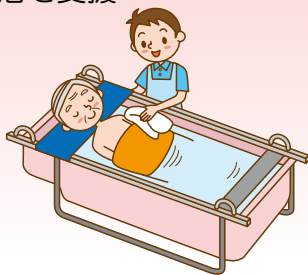
- ◎一般会計予算  
**反対討論** 炭谷議員  
 「自然を愛しくらし輝くまち」をうたいながら、石木ダムを建設する理由が明らかでないので、反対する。  
**賛成討論** 山口議員  
 財政状況が厳しい中、情報発信や子育て支援、福祉・教育など、バランスの取れた予算編成であるので、賛成する。  
**賛成討論** 福田議員  
 消防団員の手当の増額や移住・定住促進、子育て世帯出産サポートなど、新規の事業にも積極的に取り組み、住民要望にこたえる予算であるので、賛成する。  
**採決** 賛成多数で原案可決しました。
- ◎国民健康保険事業特別会計予算  
**◎後期高齢者医療特別会計予算**  
**◎介護保険事業特別会計予算**  
**採決** 以上3件は、討論はなく、全会一致で原案可決しました。
- ◎観光施設事業特別会計予算  
**反対討論** 福田議員  
 人工芝はまだまだ利用できず。約1億7千万円の起債は、返済の財源も示されず、町民の借金が増えるので、反対する。  
**賛成討論** 高以良議員  
 ホッケーを「わが町スポーツ」と位置づける本町として、北部九州インターハイを成功させるための予算であるので、賛成する。  
**賛成討論** 毛利議員  
 設置後10年以上が経過しており、九州の公認競技場としての整備が必要と考えるので、賛成する。  
**採決** 賛成多数で原案可決しました。
- ◎下水道事業会計予算  
**◎水道事業会計予算**  
**採決** 以上2件は、討論はなく、全会一致で原案可決しました。

# こんなことを予定しています

## 令和5年度の事業をピックアップ

### 訪問入浴 サービス事業

一人で入浴することが困難な障がい者宅を訪問し、週2回入浴を支援



### 子育て世帯出産 サポート事業の試行

第2子以降の出産時に一時的に保育所等を利用する場合の保育料を試験的に無償化



### 出産・子育て応援 給付金事業

母子手帳交付時に5万円、出産後にさらに5万円の応援金を支給



### 大崎自然公園 交流広場改修工事

令和6年度北部九州インターハイホッケー競技に備えて人工芝を張替え



### 学校給食費助成事業

川棚中学校3年生の給食費を無償化



### 農業経営収入保険 加入支援事業

認定農業者等を対象として、10万円を限度に保険料の2分の1を助成



### 猫TNR活動事業

飼い主のいない猫150頭分の不妊去勢手術を団体に委託して実施

※猫TNRとは……猫を捕獲し、不妊・去勢手術をおこない、元の場所に戻すこと。



固定資産評価審査  
委員会委員の選任



おおた のぶひろ 氏 (新任)  
太田 啓寛 (中組)

全会一致で  
同意しました

### 条例改正

#### 印鑑条例の一部改正

登録証の代わりに個人番号カードを提示して印鑑登録証明書<sup>1</sup>の交付を受けることができるようにする。

#### 国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金を増額し48万8千円とする。

#### 職員定数条例の全部改正

部局ごとの定数を改定。

#### 特別職非常勤職員の報酬及び費用弁償条例の一部改正

投票立会人及び期日前投票立会人の報酬を従事時間に相当する額とする。

#### 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準条例の一部改正

法改正に伴う引用条項の整理。

#### 家庭的保育事業等の設備運営基準条例の一部改正

#### 放課後健全育成事業の設備運営基準条例の一部改正

以上2件は、安全計画の策定及び自動車運行時の所在確認の義務づけ。

#### 国民健康保険税条例の一部改正

後期高齢者支援金等課税

額の上限額の改定。

#### 情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正

法定事項となった事項を削除し、議会個人情報保護条例に基づく審査請求等を追加する。

**採決** 以上9件は、討論はなく、全会一致で原案可決しました。

### 新規条例

#### 個人情報保護法施行条例

「個人情報保護に関する法律」の大幅改正に伴い、その施行に必要な事項を定める。

《総務委員長報告》

町民を守るために必要な条例である。

#### 議会個人情報保護条例

議会は新しい「個人情報保護に関する法律」の適用除外となったので、必要な条例を制定する。

#### 公共施設整備基金条例

公共施設整備の財源に充てるための基金を新たに設置する。

《総務委員長報告》

公共施設の整備に多額の費用が必要となってくるので、基金の意義がある。

**採決** 以上3件は、討論はなく、全会一致で原案可決しました。

### 契約

#### 工事請負契約の変更(旧別館屋根外壁空調改修)

工事内容の一部変更に伴い、契約金額を変更。

**採決** 討論はなく、全会一致で可決しました。

全国町村議会議長会及び長崎県町村議会議長会から、長年議員として在職し地方自治に功勞したとして、表彰を受けました。



村井 達己 議長  
(三越)



毛利 喜信 議員  
(中組)

全国町村監査委員協議会から、長年町村監査委員として在職し町村自治の振興発展に貢献したとして、表彰を受けました。



福田 徹 議員  
(城山)

# 各委員会では諸課題を調査し報告

## 議論を深めて 活力ある議会運営を

議会運営委員会

調査事項 ①議会運営に関する事項

- ②議会会議規則、委員会に関する条例に関する事項
- ③議長の諮問に関する事項

調査期日 令和4年7月1日～令和5年2月28日

### 調査の経過

議会運営に関する事項として、定例会ごとに、会期、議事日程、本会議運営、一般質問等について、反省、検討をおこなった。また、議会基本条例に基づき議会改革、議会活性化に取り組み、全員協議会で報告、協議して、円滑な議会運営と資質の向上に取り組んだ。

### 調査結果のまとめ

近年、地方議会は投票率の低下、議員のなり手不足など様々な課題を抱えている。令和3年6月定例議会で議会基本条例を制定し、その趣旨に基づいて、できることから具体化に取り組んできた。今後は、新たな制度、施策について更に調

査研究をおこない、「チーム議会」で議論を深め、町民に信頼される議会・身近な議会・開かれた議会につなげることが重要といえる。

コロナへの対応も緩和される方向にあり、町民との対話の機会を設けるなど、「町民と共に歩む議会」を目指し、情報の公開を進め、政策形成能力を高めていくことで、議会、議員の活動に理解と関心を深めていただき、その声を行政（政策）に反映させることが求められる。

そのためにも、議会基本条例に基づき、本会議、委員会等の議論を深め活力ある運営に向けて日々研鑽に努めなければならない。



議会運営委員会視察（新宮町）

## 介護予防事業の充実を

総務厚生委員会

調査事項 介護保険事業について

調査期日 令和4年6月21日～令和5年3月16日

### 調査結果のまとめ

先進地を視察してきた中では、有償ボランティア制度としてポイント制を取り入れたものや、少人数での集いの場への活動補助金制度など、住民が自主的に参加しやすい支援策が多い。本町でも介護予防事業のボランティアに参加しやすい制度の構築が求められる。

健康寿命を延ばすという観点から、介護予防だけではなく町民全体を対象とした健康づくりとして、各担当課が連携した取り組みが必要である。

高齢化社会が進む中、介護保険事業に関しては需要や支援のニーズが増えていくものと思われる。次期計画については、時代や実情に応じたものとなることを期待する。

## 安心安全な生活が 続けられるような対応を

総務厚生委員会

**調査事項** 新型コロナウイルス感染症に関する対策及び対応について

**調査期日** 令和3年6月30日～令和5年3月16日

### 調査結果のまとめ

ワクチン接種は、町民の混乱もなくスムーズに実施されており、担当課をはじめ職員全体で的確に対応されたものと評価される。

新型コロナウイルスの感染は減少傾向にあり、5類への引き下げ等国の方針が動き出しているが、まだまだ行政としての対応は求められるものと思われる。

関係機関と協力し、安心安全な生活が続けられるよう対応されることを期待する。



総務厚生委員会視察 (由布市)

## より魅力ある大崎半島

産業建設文教委員会

**調査事項** 大崎観光と観光施設の運営及び運用のあり方について

**調査期日** 令和3年6月21日～令和5年3月17日

### 調査結果のまとめ

「あり方検討委員会」から答申が出され、役場内の検討会議で答申に沿って検討されているが、本町の観光施設の適切な管理運営がなされるとともに、観光振興につながるような施策に取り組み、川棚町民及び観光客にとってより魅力ある大崎半島に発展することを望む。



大崎くじく園

## 社会経済活動活性化のため 柔軟な対応を

産業建設文教委員会

**調査事項** 新型コロナウイルス感染症対策について

**調査期日** 令和3年6月21日～令和5年3月17日

### 調査結果のまとめ

商工会等との意見交換会は、コロナウイルスの感染急拡大により開催できなかった。ワクチン接種が進み収束が見えてきたものの、今後も気を緩めることなく、社会経済活動が活性化するように柔軟な対応が必要である。



産業建設文教委員会視察 (美里町)



## 誠心誠意解決に向けた努力を

### 石木ダム対策調査特別委員会

**調査事項** 石木ダム及びその関連事業の状況把握と、議会における適切な判断ができるような情報提供

**調査期日** 令和元年6月13日～令和5年2月28日

#### 調査の経過

委員会では、できるだけ賛成・反対両方の意見を聞き、客観的かつ公平な判断を下せるよう、石木ダム建設事務所等の関係機関からの説明聴取や現地調査、建設反対川棚町民の会との意見交換会等をおこなった。

#### 調査結果のまとめ

石木ダム建設については、最高裁の判決が出されたことにより、必要であるという判断が確定しているところであるが、なおダムに反対論を述べる委員と、建設の必要性を述べる多数の委員とがあった。ただ、賛成にせよ、反対にせよ、本町にとって石木ダム問題は早期に解決すべき課題であるという点では、委員の意見が一致した。

したがって、町長におかれては、地元住民や町民の心情に十分配慮しつつ、今まで以上に、誠心誠意解決に向けて努力されたい。

## 新庁舎の機能を十分に活用し、住民サービスの充実・向上を

### 新庁舎等建設調査特別委員会

**調査事項** 新庁舎等の建設について

**調査期日** 令和元年6月13日～令和5年3月23日

#### 調査の経過

平成31年度から新庁舎等建設への取組みが本格的に始まり、工期も2年間と限られる中、議会の立場から行政と協力をし、新庁舎建設に取り組んできた。

竣工までは新庁舎等建設調査特別委員会、全員協議会を議会の窓口として行政と協議しながら町民本位の新庁舎等建設に努めてきた。

新型コロナウイルス感染症流行の影響で、資材不足、人材不足等で工期も遅れたが、行政、業者の努力により町民念願の新庁舎が竣工し、令和4年3月22日から新庁舎での業務を開始することができた。

#### 委員会の意見

- ①旧別館の空調設備の改修、2階のトイレの改修については早期完成に努められたい。
- ②旧第2別館については、資料館への活用など早期に改修に努められたい。
- ③新庁舎完成から1年が過ぎた。新庁舎の機能を十分に活用し、住民サービスの充実・向上に努められたい。

## 町民からの意見要望の把握と実現が課題

### 議会広報広聴特別委員会

**調査事項** 議会広報公聴について

**調査期日** 令和元年6月13日～令和5年3月2日

#### 調査結果のまとめ

議会報告会は、内容や手法を研究し更なる議会活性化に努める必要がある。

また、所管事項調査に取り組む中で出てきた町民からの意見要望などについては、行政、議会が把握するだけに留まらず、いかに反映させ実現させていくのが課題である。



(一社) ネコノタメナラとの意見交換会

賛否表 3月定例会 ○は賛成 ●は反対	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13
	結果	表決数 賛成:反対	福田 徹	小谷龍 一郎	毛利 喜信	初手 安幸	堀池 浩	山口 隆	小田 成実	田口 一信	高以良 壽人	炭谷 猛	水谷 未義	堀田 一徳
固定資産評価審査委員会委員の選任同意	同意	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認 (令和4年度一般会計補正予算(第8回))	承認	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度一般会計補正予算(第9回) ほか4件	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
印鑑条例の一部改正	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険条例の一部改正	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員定数条例の全部改正	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別職非常勤職員の報酬及び費用弁償条例の一部改正	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準条例の一部改正	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
家庭的保育事業等の設備運営基準条例の一部改正	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
放課後児童健全育成事業の設備運営基準条例の一部改正	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例の一部改正	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の変更(旧別館屋根外壁空調改修工事)	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
個人情報保護法施行条例	原案可決	全会一致	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
公共施設整備基金条例	原案可決	全会一致	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度一般会計予算	原案可決	10:1	○	○	○	/	○	○	○	○	○	●	○	○
令和5年度国民健康保険事業特別会計予算 ほか2件	原案可決	全会一致	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度観光施設事業特別会計予算	原案可決	10:1	●	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度下水道事業会計予算	原案可決	全会一致	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度水道事業会計予算	原案可決	全会一致	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
町議会個人情報保護条例	原案可決	全会一致	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正	原案可決	全会一致	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○

初手議員は、3月8日議員辞職

# 一般質問 8名が登壇!

3月定例議会の一般質問は  
7日(火)におこなわれました。

## 町長・教育長の考えを問う!

### 一般質問とは……

町政全般の諸課題について、本会議で町長等に質問するものです。  
質問時間は、答弁を含めて50分以内です。

会議録は、ホームページ及び中央公民館図書室で閲覧できます。

- ① 堀田 一 徳 議員 (P.12)  
☆移住・定住の促進策は
- ② 山口 隆 議員 (P.13)  
☆高齢者が住みよいまちづくりの実現を
- ③ 福田 徹 議員 (P.14)  
☆本町にもポイント制度の採用を  
☆図書館建設について
- ④ 堀池 浩 議員 (P.15)  
☆大崎半島内観光施設の運営のあり方は
- ⑤ 小田 成 実 議員 (P.16)  
☆観光地づくり実施計画とは
- ⑥ 水谷 末 義 議員 (P.17)  
☆大型事業計画を活用した施策は  
☆農業施策について
- ⑦ 炭谷 猛 議員 (P.18)  
☆石木ダムは造らない方が良いのでは
- ⑧ 田口 一 信 議員 (P.19)  
☆役場窓口業務の改善を

## 移住・定住の促進策は



堀田 一徳 議員

## 新たに「空き家改修補助金」を 創設する

町長

これは、空き家・空き地バンクを通じて移住定住のために空き家を購入する者等を対象に、その改修費の2分の1を、最大50万円まで補助するものである。

本町は、若者が就職できない企業が少なく、若い人が大都市圏に流出し、人口減少の要因となっている。人口減少の克服のためには、移住・定住者を増やすことが重要である。

町長 これまでも、川棚町総合計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、移住支援金や移住体験宿泊費助成金、空き家・空き地バンクなどの制度を備えているが、令和5年度は新たに「空き家改修補助金」制度を創設する。

堀田 地域、年齢層、家族構成などを特定した明確なターゲットはあるのか。

町長 関東圏や福岡などの九州圏から、20代から30代の子育て世帯層をターゲットと捉えている。

堀田 町の魅力についての情報発信やPRはどうしているのか。

町長 ホームページで移住制度を発信するほか、県が実施する東京や福岡での移住相談会への参加、西九州させば広域圏事業でのPRなどをおこなっている。

また、昨年お盆の帰省時期に合わせて、移住に関連する制度を広報誌に掲載した。

さらに、インスタグラムに町の公式アカウントを開設し発信しているが、令和5年度は、町内の人材を活かした情報発信の強化事業費を計上し

ており、おすすめスポットの紹介や移住者へのインタビュー等を通じ、本町の魅力発信に力を入れていく。

堀田 移住相談の窓口をつくる必要があるのか。

企画財政課長 県の移住サポートセンターと連携した形で、企画財政課を窓口としている。

堀田 新規就農者に対する住宅・農地の確保はどうするのか。

町長 農地の取得は、農業委員会の許可が必要であるが、本町では、農地法で定められている許可基準面積について別段の面積を定め、許可基準を引き下げている。

空き家を活用し新規就農者を呼び込む取組みについて、他の自治体の状況等を調査検討したい。

堀田 新規就農者に町営住宅を提供することはできるのか。

建設課長 入居要件に合致していれば入居は可能である。ただ、町営住宅には倉庫などはないので、別途確保してもらう必要がある。

堀田 白石保育所跡地のように、町有地を住宅地として整備できるようなところはありますか。また、どこかを開発して住宅地として整備する考えは。

町長 町有地で宅地化できるところは、今はない。開発については、民間業者がやっているのので、町でおこなう考えはない。





山口 隆 議員

## 高齢者が住みよいまちづくりの 実現を

### 各種施策の実施に取り組む

町長

高齢者への対策については、十分な論議がなされていない感がある。本町では65歳以上は34・6パーセントと高齢化が進んでいる。

**山口** 現在の物価高に対応するため、高齢者世帯への現金支給など支援の考えは。

**町長** 国の施策で住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金が給付されている。

現時点では、高齢者世帯に対する町独自の給付金等は考えていない。

**山口** 75歳以上に活いきタクシー利用券が支給されているが、制度の見直しやコミュニティバスの運行等に取り組む考えは。

**町長** 川棚町活いきタクシー助成事業については、既存の交通事業者を活用し、町内の高齢者の皆様に広く支援できるこ

とから、一定の評価を得ていると考えている。しかし周辺部の住民の利用率が低いなど、一部から改善の声もある。

令和5年度は、地域にとつて望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにするマスタープランとして、地域公共交通計画を策定することとしている。

**山口** 活いきタクシー利用券については、75歳以上の全員に交付するとともに、1枚あたりの金額を増額することが必要ではないか。

**町長** 令和5年度に調査研究し、可能なことは令和6年度から実施したい。

**山口** 「百歳体操」に対する補助はできないか。

**町長** 百歳体操は、介護予防支援事業として、高齢者の通いの場を住民主体で運営することを目標

に、平成30年度から事業展開し、体操指導、体力測定に係る報酬・委託料、重りの購入等に年間約130万円を支出している。

百歳体操だけに補助することは、同様の目的をもつ他の事業とのバランスが保てず、新たな補助制度の構築は難しい。

**山口** 自治会活動、自主防災、地域見守りや各種団体の活動の大半は高齢者が担っている。世代交代が円滑に進まず、各種活動が縮小していくことが危惧される。活動への支援、助成に取り組む考えは。

**町長** 自治会へは活動補助金を交付しており、有効に活用してほしい。現在の活動が衰退しないような支援について、今後検討が必要であると考える。



百歳体操の様子



## 本町にもポイント制度の採用を



福田 徹 議員

## 最適なポイント制度について 調査研究する

町長

多くの自治体で、協働のまちづくりの手段として、住民参加型のポイント制度が実施されている。ポイント制度は自助・共助のまちづくりに貢献し、住みよいまち、住んでよかったまちを目指す「川棚町総合計画」の趣旨に沿うものである。

**福田** 先進地ではポイント制度がうまく活用され、良い効果があるが、本町でも制度を採用してはどうか。

**町長** 全国的に、健康づくり事業やまちづくり活動に参加することでポイントを付与する事業が注目を集めていることは認識している。本町においては、出産子育て応援、介護予防事業、ゴミ拾い活動等に親和性があると考ええる。

検討にあたっては、住民の利用しやすさ、運用ポイントの種類、施策分野の活用可能な汎用性、

費用対効果などを総合的に研究する。

**福田** ボランティア活動にポイントを付与する制度も考えられるが、そういった活動をしている方の把握はできているのか。

**町長** ボランティア活動としては、町内3小学校の登校見守りとワクチン接種の有償ボランティアなどがある。

**福田** 波佐見町は「健康マイレージ」というポイント制度を実施しているが、

**町長** 健診を受けたらポイントがもらえる制度だと思っ。

**福田** デジタルを活用すれば、ポイント制度のシステム構築は簡単にできるのではないかな。

**町長** 本町に最適なポイント制度について、今後調査研究していく。

### 図書館建設について

図書館は、未来を担う若者を育てるとともに生涯学習を通じて住民のコミュニケーションが広がる「人づくりの核」となり、住みよいまちづくりに欠かせないものである。

**福田** 図書館建設について、どのように考えているか。

**教育長** 図書館建設は考えていないが、県立図書館などと連携し、図書室の環境づくりを含め、蔵書の充実を図りたい。



中央公民館図書室



堀池 浩 議員

## 大崎半島内観光施設の 運営のあり方は

今年9月を目処に  
運営方針を決定したい

町長

大崎半島内の観光施設の今後の運営のあり方及び活用する方法について、令和4年9月に「川棚町観光施設運営あり方検討委員会」から答申が出された。

現在、町においては、職員で構成する観光施設運営検討委員会を設置し、あり方検討委員会から課題として指摘された事項等について検討を進めている。

**堀池** あり方検討委員会からは、大崎半島内の観光施設を本町観光振興の中心でどのように位置づけるかが大事であり、そのための条例の見直しが必要だと指摘されているが、どのように見直すのか。

**町長** 課題として指摘された各施設の効果的な利用による観光の振興等について、現在、町内部の検討会議で検討しており、各施設の今後の役割と運営の方向性に沿った見直しが必要になると考えている。

**堀池** 本町の観光振興政策を明確にするため、KGI及びKPIの設定、経営・運営戦略（ロードマップ）の策定が必要だとも指摘されているが、策定はいつ頃になるのか。

**町長** 大崎半島以外の、戦時遺構群や虚空蔵なども含めてKGI及びKPIを設定する必要があると考えているが、まだ方向性が決まっていないため、策定期間は決まっていない。

**堀池** 利用者のニーズを把握することが大事であるとの指摘もあるが、どのようにして把握するのか。

**町長** 令和2年度に新型コロナ対策として宿泊費助成をおこなった際のアンケートも参考になると思うが、それ以外にも町民へのアンケートを検討する必要があると考える。

**堀池** それぞれの施設が持つ用途や管理の方向性等の特性を見極めた上で「収益施設」と「管理施設」に分類することも考えられるとの指摘もあるが、どのように考えるのか。

**町長** 「収益施設」は利用料などの収益のみで経営が可能な施設、「管理施設」は収益のみでは経費がまかなえず、町からの管理費用の負担が必要な施設と考える。

それぞれの施設の特性を見極めて整理する必要がある。

**堀池** 管理運営の委託手法については、コンセッション方式やPFI方式での公募なども考えられるとあるが、どのような方法を考えるのか。

**町長** 施設を運営する事業者が、その施設の特性を最大限生かせるような手法を考える必要があるが、売却、指定管理方式、P

FI方式を含めて検討中である。

**堀池** 今後の全体のスケジュールは。

**町長** 現在の指定管理期間が令和7年3月末までとなっているので、令和5年9月を目処に各施設の運営方針を決定し、併せて令和5年度中に制度設計をおこなう予定である。

- KGI……企業が個人がビジネスをおこなう際などの最終目標が達成されているかを定量的に評価するための指標。
- KPI……最終目標であるKGIを達成するため、必要なプロセスの進捗状況を計測するための中間指標。
- PFI……公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に民間のノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導でおこなう仕組み。
- コンセッション方式……「公共施設等運営権」を、公共施設を運営する民間事業者へ付与することにより、施設の所有権は自治体のまま、長期的な公共インフラの運営をおこなうことができる仕組み。

## 観光地づくり実施計画とは



小田 成実 議員

## 大崎半島を活かした 観光客の誘致をおこなう

町長

長崎県観光審議会で、「観光地づくり実施計画」について川棚町の計画が原案とあり承認された。

**小田** 実施計画では、海水浴場やくじやく園などがある大崎半島を活かした観光コンテンツの充実を計画とあるが、その計画とは。

**町長** 計画期間は令和5年度から令和7年度までの3年間で、大崎半島が持つ自然景観や宿泊、温泉、キャンプ場などの豊かな観光資源を活かして誘客し、大崎半島を起点として、町内の体験メニューなどを提供する事業者や飲食店などへ周遊していただくような仕組みづくりをおこなうものである。

**小田** 具体的な計画は。

**町長** 大崎海水浴場の景観や自然環境を活かしたコミュニティづくりや、

SDGsの推進をおこないながら海水浴場を活用したイベントの実施、周遊観光コンテンツの開発、情報発信への支援などをおこなう。  
また、大崎半島を中心とした周遊観光の手段として、レンタサイクルの配備や近隣市町と連携した観光モデルルートの策定などをおこなう。

**小田** 計画推進を担当する部署及び事業実施主体は。

**町長** 担当部署は、産業振興課商工観光係であり、事業実施主体は、「大崎スローライフプロジェクト」である。  
また、小串郷駅を拠点としたレンタサイクル配備等の周遊促進は町が実施主体である。

**小田** この実施計画は、現在の指定管理者制度の中で取り組むのか。

**町長** 川棚町観光協会から「大崎スローライフプロジェクト」が委託を受けて取り組む。

**小田** 町長の施策説明の中に「地域住民や観光協会、近隣の大学、町など多様な関係者が連携し、大崎半島を中心とした観光まちづくりを推進し、地域の魅力を図っていく」とあったが、その中の大きな取組みの一つか。

**町長** あくまで、この事業の実施主体は本町でなく、「大崎スローライフプロジェクト」である。

**小田** 環境と観光を、どのように考えているのか。

**町長** 環境は非常に大事な点と考えており、それを活かしながら観光につながればと考えている。

**小田** レンタサイクル周遊の内容は。

**産業振興課長** 小串郷駅に電動自転車置き、駅から大崎半島内の各観光施設を回ってもらうのが基本的な計画で、コースとしては片島公園や新谷の特攻殉国の碑などを考えている。



大崎海水浴場とくじやく荘





水谷 末義 議員

## 大型事業計画を活用した施策は

## 農畜産物品質向上と 所得の安定につなげる

町長

東彼杵道路、基幹農道川棚西部地区、石木ダムなどの大型事業が進められているが、その大型事業を活用した施策が必要である。

**水谷** 基幹農道を活用する計画は。

**町長** 令和6年度の竣工を目指す工事が進められているが、一部共用区間を利用して川棚川流域の水田地帯から稲わらを自給飼料として供給し、肉質の向上を図っている。

畜産団地からは水田地帯へ堆肥の供給をおこなっており、地域一帯となった稲わらと堆肥の相互供給による営農が展開されている。

中山間地帯を横断する基幹的な農道を整備することで、畜産物や購入資材など、輸送の合理化を図るとともに、交通アクセスの向上により畜産部門と耕種部門との連携による有機物資源の地域内供給システムを確立し、

農畜産物の品質向上と農業の所得の安定に資するものとして事業が進められている。

**水谷** 東彼杵道路計画は、基本ルートとして複数のルートが示されているが、今後の川棚町を見据えた産業の活性化や、定住人口が増加するような構想や施策は。

**町長** 国土交通省が検討を進めている東彼杵道路は令和4年8月に山側ルート、大村湾沿いルート及び国道205号線拡幅ルートが示され、令和4年12月に社会資本整備審議会の九州小委員会から大村湾沿いルートが対応方針として示されている。

整備効果としては、ハウステンボスから東彼杵インターチェンジ間の移動時間の短縮により、産業の活性化に伴う雇用創出や、交流人口の拡大による観光消費の拡大、定住人口の増加などが見込

まれる。通勤時間の短縮により、近隣市町で働いて本町に住んでいただくという選択肢が増えるものと考え、県及び近隣市町と連携を図りながら早期実現に向け、国へ働きかけをおこなうとともに第6次川棚町総合計画の着実な推進に力を入れていく。

### 農業施策について

農業施策は「食料・農業・農村基本法」によって進められ、本町もそれに沿った運用がなされている。

**水谷** コロナの影響や国際状況の変化等で、農業者は燃料の高騰など大変な状況であると思うが、それを救済する町の対応が遅いのではないか。

**町長** 国からの臨時交付金等を含む限られた財源の中で、町全体として有効な施策を模索し、国・県の施策を注視しながら制度確立をして、迅速に対応している。

令和4年度は、燃油価格高騰対策支援事業、肥料・飼料価格高騰対策緊急補填事業に取り組んだ。

緊急性が高く速効性のある施策を中心に迅速な対応に心がけたい。



部分共用開始された基幹農道（新谷）

石木ダムは造らない方が  
良いのでは



炭谷 猛 議員

洪水調節、流水機能の  
維持等のため必要である

町長

石木ダムのように、川をコンクリートでせき止めれば、弊害が出るのが想定され、災害のリスクが高くなると考えられる。

**炭谷** 想定外の降雨の場合、石木ダムの構造上、非常用洪水吐きから全面的に流れ出し、急激な流量増加で下流域に災害が発生するのではないかと。

**町長** 石木ダムは、洪水調節においてゲート操作をおこなわないダムであり、ダムからの放流量を人為的に操作しないので、計画を超える雨が降った場合でも、ダムがない場合と比べて放流量が増えることはない。

石木ダムは、195万m<sup>3</sup>の洪水調節容量で、おおむね100年に1度発生する程度の大雨を安全に貯留し、下流の流量を低減させることで、洪水被害の軽減を図るものである。

万一、計画規模を超え

るような大雨が降った場合にも、洪水を調節することでピーク時間を遅らせることにより、避難に要する時間をかせぐことができる。

**炭谷** ダム建設予定地は、漏水地盤対策と堰堤強度に不安があるが。

**町長** 建設予定地の地盤は、おおよそ1千万年前から2千万年前の火山活動に伴い噴出した溶岩でできており、不動山安山岩と呼ばれているこの地盤はとても硬いことから、ダムを建設する際の基礎地盤としては十分な強度を有している。

なお岩盤の亀裂については、セメントミルクを注入することで水漏れに対処することができる。

**炭谷** 線状降水帯は、下流域にも大雨が降り、内水氾濫が発生させるので、ダムの効果は少ないのでは。

**町長** ダムにより、洪水を計画高水位以下で安全に流すことが可能となり、支流や排水管から本流への排水もスムーズにおこなうことができるので、内水対策も一部解消される。

**炭谷** 城山付近の掘削と河床堆積土砂の排出は効果があったが、何mであったか公表できないのか。

**町長** 川棚川は県管理の河川であるので、町が公表する立場にはない。

**炭谷** 昭和30年代に造られた川棚川の護岸は、一度も破堤はないのでは。

**町長** 昭和42年7月の集中豪雨により、岩立より上流域では各所で堤防が決壊し、五反田では40メートルにわたって決壊した。

**炭谷** 平成2年以降は、逆流防止弁や堤防の流入防

止扉が設置されているので、氾濫対策は十分ではないか。

**町長** あと数か所設置する必要があり、順次設置していくが、逆流防止弁や流入防止扉だけの氾濫対策では十分でない。

**炭谷** 流域治水の考え方が重要であるので、治山水のあり方について波佐見町と話し合いをする考えは。

**町長** 川棚町は、過去には死傷者や住宅倒壊、床上床下浸水など甚大な被害を経験しており、住民の安全安心を確保することは行政の責務である。河川管理者である県が石木ダム建設が最も効果的で、県や市と連携して進めていく考えであり、波佐見町との話し合いの申入れは考えていない。



田口 一信 議員

## 役場窓口業務の改善を

町民目線に立って対応するよう  
心掛ける

町長

役場の窓口での対応に不満の声が多くある。改善に努力されているが、さらに一層の努力が求められる。

**田口** 町民は、役場の業務のことは良く分からないので、職員は普通に接しているつもりでも、叱られている、怖いという気持ちになることがあるのではないかと思う。

職員はいつも町民目線で接することを意識しておくことが必要であると思うが、そのような意識は徹底しているのか。

**町長** 就任以来、職員に対して、町民への挨拶や声かけ、親切な対応をお願いしている。職員の一人ひとりが自覚し職務に当たっているものと思うが、指摘を謙虚に受け止め、町民の目線に立った住民対応を心がけるよう、あらためて求めていきたい。

職員は法令遵守のもと公平公正な立場で職務に

当たることが基本であり、業務の中において制度や職務上、住民の方の求めどおりには応じられないこともあり、毅然とした対応が必要な場合もあるので理解してほしい。

**田口** 接遇に関する研修を、全職員が年一回くらい受講できる場を設けては。

**町長** 接遇は、採用時の初任者研修で受講している。

全職員が年一度必ず受講する機会を設けることは難しいが、令和5年度に計画したい。

**田口** 窓口に来られた方の話を最後まで聞き、その対応を丁寧に行っているか。

**総務課長** 住民の方に対して丁寧な対応をするよう職員に指示しているが、さらに窓口対応について

は意識を高めるよう努めたい。

**田口** 新型コロナワクチン接種の予約をしようと電話したが、いつまでもつながらなかった。高齢者にとっては電話又はインターネットのみでの受付は極めて不便だと思うので、役場窓口でも受け付けることを原則にすべきではないか。

**町長** コロナ禍において、役場内に多くの住民の方が密集することを避けるために、役場窓口以外での予約体制を整備した。役場庁舎を起点とする新型コロナの感染拡大を防止するための取組みであるので、理解してほしい。

**田口** 予約ができずワフチン接種

を諦めた人はいなかったのか。

**町長** 把握をしていない。

**田口** 今後の予約体制はどうするのか。

**健康推進課長** 接種期間が急遽短縮されるなどで、体制整備が不十分となり、問題を残したが、今後はスムーズな予約ができるように努めたい。



役場窓口の様子

# 議員任期満了

4年間の任期が満了しました。町民の皆様にはお世話になり、ありがとうございました。

4月の町議会議員選挙で新しい議員が誕生します。町政発展のため、新しい議会に期待します。



任期満了を迎えた町議会議員

## 委員会視察調査

各委員会で調査の目的に沿って視察調査をおこないました。

### ◎議会運営委員会

期日 令和5年1月16～17日

場所 福岡県志免町、新宮町

及び川崎町

内容 議会改革、議会活性化

について

### ◎産業建設文教委員会

期日 令和5年2月9～10日

場所 熊本県山都町及び

美里町

内容 宿泊施設における指定

管理者制度の運用状況

について

### ◎総務厚生委員会

期日 令和4年8月31日

場所 北松浦郡佐々町

内容 介護予防事業について

期日 令和4年11月21～22日

場所 福岡県篠栗町及び

大分県由布市

内容 介護予防事業について

内容 介護予防事業について



美里町での視察状況

## 6月定例会のお知らせ

6月中旬に開催予定です。皆様の傍聴をお待ちしています。



## あとがき

現メンバーによる議会だよりの編集は、今号が最後となりました。皆様には、ご愛読いただき、ありがとうございました。

私たちは、できるだけ読みやすい議会だよりになるよう心がけ、昨年には議会だよりのモニターの方を委嘱して、意見をいただきながら編集を進めました。紙面の変化を感じていただけたなら幸いです。

次号からは、また新しいメンバーで、議会だよりをお届けすることになります。引き続きご愛読いただきますようお願いいたします。

(田口)

◎3月定例会は、19人の傍聴がありました。

### 議会だよりの

#### 編集特別委員会

委員長 小田 成実

副委員長 高以良壽人

堀池 浩

田口 一信

炭谷 猛

水谷 末義

#### 発行責任者

議長 村井 達己